

学術情報センターだより

Library and Information Technology Center, Nagoya Women's University

読書の習慣化

成田 公子 (短期大学部生活学科長)

短期大学部では平成24年度から図書館との連携事業として、読書推進活動を進めています。この取り組みは読書を通して文章を読み解く能力の育成、また読書感想文を書くことによる文章作成能力などの向上を目的としています。平成25年度は24年度より実施されている、読書推進活動「私の本棚～目指せ7305P」を継続するとともに、生活学科では1年生には読書講座を、2年生には読書を通して得た知見を何らかの形に表現することをテーマに「PowerPointで書籍の紹介」「wordを用いた読書感想画」「読書感想レポート作成」「絵本の世界観を表現」などの実施を予定しています。「絵本の世界観を表現」は、すでに「テーブルコーディネート」の授業で実施し、絵本を読みイメージした食卓を、実際のテーブルコーディネートとして表現しました。この取り組みの感想は「想像力が膨らんで楽しかった」「思索しながら読書ができた」という意見がみられ、当初の目的である読書を通して得た知見を形に表現するというテーマは達成できたのではないかと考えます。このような読書推進の取り組みが、読書への親しみや想像力の育み、文章を読み解く読解力などの様々な能力開発、さらに読書の習慣化に繋がることを期待したいと思います。

「読書離れ」「活字離れ」という言葉は、新聞発行部数や書籍・雑誌の販売部数がピークを越えた1990年

代半ばより、社会問題として見聞きするようになってきました。学生に課したレポートなどの提出物を作成する際、指定しなければ参考図書を活用するというよりは、インターネットなどの電子媒体を利用して課題を作成する情景を見かけることが多くあります。電子媒体は必要とする箇所を即座に取り出すことができる便利さはあります。しかし、参考図書も大いに活用して、本を読み進む中で文章を読み説き、また必要とする内容とその周辺の様々な知識が得られることを充分楽しんでほしいものです。そして、提出課題のための読書に限らず、読書を日常のものとして習慣化して欲しいと思います。

一人の人間がその人生で経験できることには限りがあります。読書を通して多くの人々の生き方や、ものの見方、考え方、捉え方などを学ぶことは幅広い知識の習得と、多くの心の糧を得、他者を思い、他者と共に生きる、豊かな人間性を育てることに繋がるものと思います。読書を習慣化する方法はいろいろありますが、私の経験では、毎日5分程度本を手にして読み進むことを1週間継続すると、本を読まずにはいられないという感覚、すなわち読書の習慣化を会得できました。秋の静かな夜、ページをめくる音を楽しみながら、心の糧となる1冊の本を読み進んではどうでしょうか。

◎ 目 次 ◎

巻頭言 読書の習慣化	1
J-DreamⅢがリニューアルされました	2
短大連携 読書推進活動「私の人生本棚」	3
学生選書ツアー ～選んで 並べて プロデュース！～	3
特集 学習支援紹介	4～6
動画を活用した課題作成 ～動画編集の手順～	7
大学での学びと著作権	8
名女大読書プロジェクト	8
新着雑誌紹介	8

J-Dream III がリニューアルされました

科学・食物・栄養・医学分野の学術論文データベースの JDream II が 2013 年 4 月より、JDream III としてリニューアルされました。リニューアルに伴い画面イメージ、検索方法が変更されました。今回は以前からの変更点を中心に利用手順を紹介いたします。

ステップ 1. アクセス方法

アクセス手順は従来と変わりません。

学術情報センター：<http://lsic.nagoya-wu.ac.jp/>
 > 資料を探す > 雑誌の記事・論文を探す

上記 URL にアクセスし、「JDream III」をクリックすると、トップ画面が開きます (図 1)。画面右上の IP 接続でログインをクリックし、次画面、名前欄に名前を入力し「クイックサーチ」「アドバンスサーチ」を選択します。(図 2)



図 1

図 2

「クイックサーチ」はインターネット検索のような直感的な検索、「アドバンスドサーチ」は条件を絞り込んだ検索ができます。卒業研究や論文作成の検索には、より目的に沿った検索のできる「アドバンスドサーチ」を使うと漏れのない情報検索が可能です。「アドバンスドサーチ」を行なう場合は **ファイル選択** が必要です。

ステップ 2. 検索

「クイックサーチ」では入力ボックス上のプルダウンから検索分野を選んで検索ができます。検索キーワードを指定する場合はスペースで区切ると〈AND〉検索になります。検索結果一覧の左側チェックボックスにチェックを入れ画面下の **回答表示** をクリックすると詳細情報が表示されます。(図 3)

J-Dream III は画面リニューアルされましたが、搭載データベース等に変更は無く、搭載件数 5320 万件以上の文献を擁する国内最大級の科学技術文献データベースです。利用についてはゼミ単位や個別の利用説明も行なっていますので、大いに活用してください。



図 3

図 4

「アドバンスドサーチ」では検索語毎の検索結果が表示され結果一覧を絞り込むことで詳細な条件の指定ができます。また、発行年の絞り込みやシソーラスを使って同義語を漏れなく検索する機能もあり、テーマの網羅的検索に適しています。(図 4)

ステップ 3. 結果の活用

結果一覧から求めるタイトルをクリックすると詳細が表示されます。(図 5)



図 5

画面下に「メディカルオンライン」や「J-ATAGE」など全文リンクのアイコンがあるものは全文にリンクしています。リンクの無いものは「MY Collection」から図書館 OPAC の検索、更に当館所蔵の無いものは MY Library から文献複写依頼にリンクがあり Web からの複写申込みができます。

◆ 短大連携 読書推進活動「私の人生本棚」 ◆

◆「私の人生本棚」とは？

短大連携読書推進活動「私の人生本棚」とは、大学図書館と短期大学部が連携して行っている読書推進活動です。読書の記録を“読書 Diary”として綴り学内で公開するとともに、読了した本のページ数を積み重ねることにより、短期大学部生が卒業するまでに生きてきた日数と同じ 7305 ページの読了を目指します。平成 24 年度より始まり、2 年目となる今年度も様々な活動を行なっています。

●学科別連携事業

活動 2 年目となる短期大学部 2 年生は、学科別にて特色ある読書推進活動を展開しています。食生活専攻の 2 年生は「不思議の国のアリス」「美女と野獣」「ピーター・ラビット」など、子どもの頃に親しんだ物語をモチーフにしたテーブルコーディネートを、汐路本館 1 階ギャラリーコアンに展示しました。今後は各学科が順次、授業連携の取り組みを発表していきます。



●読書講座開催

前期では読書推進活動の初年時教育として、生活学科と保育学科の 1 年生に対し、教員からのブックトークを開催しました。教員が自身の読書体験から学生にすすめたい本や、専門分野に関する良書などを紹介しました。推薦された本は順次購入し、汐路本館 2F「私の人生本棚コーナー」に配架されています。また大学図書館から発行される読書通信や、汐路本館 1F の読書推進コーナーでも、教員が推薦した本の紹介をしています。

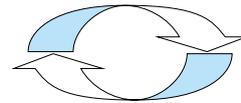
●汐路本館 1F 読書推進コーナー

汐路本館 1F の読書推進コーナーでは「私の人生本棚」で短期大学部生による読書 Diary を公開しています。友達と感想を共有して、読書の幅を広げましょう。自分が普段読まない分野の本を知る機会として利用してください。また、掲示板では定期的に図書を紹介も行っています。現在は前期読書講座で教員が紹介した図書の特集をしています。

②感想文(Diary)を書いて提出

③ Diary 公開!

①本を読む



④みんなの Diary から読みたい本を探す



◆ 学生選書ツアー ～選んで 並べて プロデュース!～ ◆

今年度第 1 回学生選書ツアーを 6 月 29 日、ジュンク堂書店で行ないました。今回は選書テーマを『選んで 並べて プロデュース!』とし、選書から図書館内の資料の紹介、本棚の陳列までを、学生自身がコンセプトを設定して、図書館本棚のプロデュースに挑戦しました。事前学習ではコンセプトを構想し、読者ターゲットやターゲットの読書傾向、どのような本が好まれるかを検討しました。選書当日には参加者による交流会も開かれ、コンセプトの発表や選書した本とおすすめポイントの紹介、好きな本・作家の PR など、学部や学年を超えて話が弾みました。また、書架の展示方法や効果的な POP 作成についての意見交換も行い、事後活動への意欲を高めました。「ターゲットを絞って選ぶので本を選択しやすかった」「本棚をプロデュースという観点が面白かった」など好評な意見が多くありました。



選書した資料は、汐路・天白両館の学生選書コーナーに展示しています。各グループがコンセプトに沿って工夫を凝らした書架展示を作成しています。参加学生のおすすめ本、ぜひ手にとってみてください。また、今回選書した本のリストは学術情報センターの Web サイトで公開されています。



学生選書とは？

図書館に必要な本を学生自身が書店で選ぶ企画です。学生の目線で選書することで、より活用される蔵書構成となるよう実施しています。

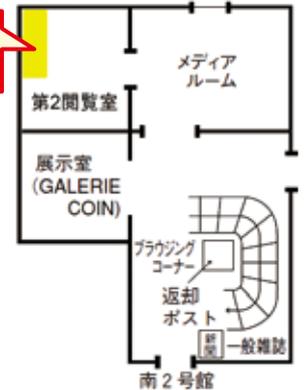
特 集 学 習

汐 路 本 館

学術情報センターでは、大学での学びのサポート
今回は大学図書館の汐路本館・天白分館で取

汐路本館 1F 見取り図

語学学習ゾーン
国試対策コーナー



■ 語学学習ゾーン

汐路本館 1F 第 2 閲覧室にある「語学学習ゾーン」をご存知でしょうか。このコーナーは皆さんの語学学習に役立つ資料を中心に構成されています。英語の語学参考書はもちろんのこと、TOEIC、TOEFL、英検などの試験対策問題集や、レベル別に分かれた多読教材、留学やホームステイに関する資料も揃っています。また、付属 CD のある資料も数多くあり、リスニング学習におすすめです。CD は図書館で利用することも貸出も可能です。その他、英語以外の外国語（フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語など）に関連する書籍もこちらのコーナーにあります。活用して、在学中に語学資格試験に挑戦しましょう。

◆ 語学学習カウンセリング ◆

英語教員による語学学習カウンセリングを行っています。TOEIC・英検の学習方法について等、語学学習の相談ができます。

申込は汐路本館 2F カウンターで行っています。



英語力アップには Graded Reader を使った多読がお勧めです。「Penguin Readers」や「Oxford bookworms library」は語彙をレベルごとに制限して書かれ、易しいレベルから順番に読み進めることができます。

■ 国試対策コーナー

今年度より新たに「国試対策コーナー」が汐路本館 第二閲覧室に設置されました。こちらのコーナーには、管理栄養士の国家試験対策のため、食物栄養学科から推薦された資料が配架されています。管理栄養士国家試験の過去問題集の他、国家試験に向けて学習するためのテキストや参考書、各試験範囲分野の学習参考図書があり、自学自習の場として最適です。また、自習の中でわからないことがあれば、学科教員の指導を受けることもできます。国試対策コーナーの資料も貸出しが可能です。食物栄養学科のみなさんは、管理栄養士国家試験合格に向けて大いに活用しましょう。

◆ 病理・疾患について学びたい

- * 新・病態生理でできた内科学シリーズ
- * 病気がみえるシリーズ
- * 図説・病気の成立ちとからだ
：病態生理・生化学・栄養
- * 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち
- * PT・OT 基礎から学ぶ病理学ノート

◆ 基礎科目を見直したい

- * 栄養科学イラストレイテッドシリーズ
- * 新食品・栄養科学シリーズ
- * 管理栄養士養成課程における
モデルコアカリキュラム準拠
- * 管理栄養士国家試験対策シリーズ
新これであなとも管理栄養士
- * エキスパート管理栄養士養成シリーズ

◆ 国家試験の要点を学びたい

- * 国試の達人：でるでる国試 2013 Year book
- * 管理栄養士国家試験頻出ワード別一問一答
：出るトコ徹底分析
- * 管理栄養士国家試験受験必修キーワード集 第 6 版
- * 苦手科目を克服！ 管理栄養士国家試験合格のコツ
- * 国試の達人：直前まとめ編 2013 Year book
- * Check mate：管理栄養士国家試験対策 2013 年

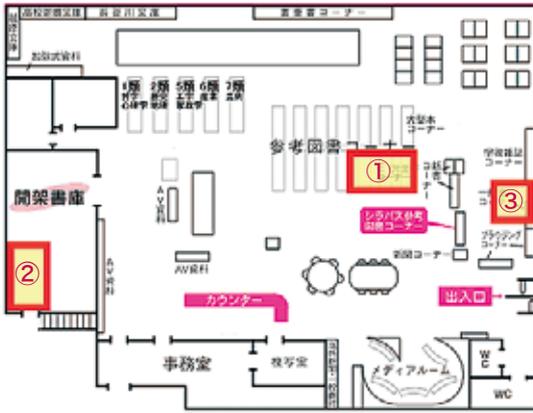


支 援 紹 介



ートとして学習環境を整えています。
り組んでいる学習支援について紹介します。

天白分館 見取り図



天 白 分 館

■絵本コーナー 天白分館見取り図①

主に幼児保育学専攻学生向けに、絵本資料が充実しています。大型絵本や紙芝居の所蔵もあり、授業での利用だけでなく、幼稚園や保育園での実習の際にも活用されています。現在、絵本書架上には授業連携として教員紹介の「読んでおきたい絵本コーナー」が設置されています。こちらの資料も大変貸出し利用率の高いコーナーとなっています。



■幼児保育関連資料 天白分館見取り図③

学術雑誌コーナーでは幼児保育学術雑誌も多く取り揃えています。専門雑誌のほか、実習や授業では「Piccolo」「保育とカリキュラム」「幼児と保育」「PriPri」などの実務的な雑誌も多く利用されています。一般書コーナーには保育士・幼稚園教諭の採用試験の過去問題集や最新のテキストがあります。こちらも採用試験対策として、貸出し率が高いコーナーです。



■教職コーナー 天白分館見取り図②

小学校を中心に各教科の教科書、教科書指導書を取り揃えています。指導要領改定毎に購入し、常に最新の資料を整備しています。教科書はすべて貸出し可能、指導書は一部貸出し可能です。また、貸出しの際、返却期限日が実習期間と重なっている場合は、貸出し期間の延長も行っています。実習に重なった場合はカウンターで申し出てください。

■教員採用試験関連資料 天白分館見取り図③

教員採用関連資料として、特に利用の多い「教員養成セミナー」「教職課程」「受験ジャーナル」の3誌について、過去問等が特集された特別号のバックナンバーを、特別コーナーとして書庫から出して配架しています。最新号以外は2日間の貸出しが可能です。学術雑誌コーナー横の一般書コーナーには、教員採用試験の問題集や参考書もあります。近隣の県や市の採用試験の過去問題も、最新版を毎年購入しています。



特集 学習支援紹介

■シラバス参考図書・推薦図書コーナー

シラバス参考図書とは、シラバスで授業の参考図書として教員から指定されている図書です。授業の課題に取り組む場合や、レポートを書く際に役立ちます。シラバス参考図書は学術情報センター Web サイトに一覧が掲載されており、指定された授業から探すことができます。

推薦図書は各学科の教員から推薦された、学科関連または教養関連の図書です。所属学科の基本知識を身につけたり、大学生としての基礎教養を高めたりすることができます。推薦図書も学術情報センター Web サイトに学部・学科ごとにリストが掲載されています。

こちらのコーナーは汐路・天白各図書館の入口ゲート近くに配架されています。



■グループ閲覧室

汐路図書館に2室、天白図書館に3室あります。多人数で課題やレポートなどに取り組む際に利用してください。グループ閲覧室では図書館の資料を持ち込んで利用することができます。また、館内貸出ノートパソコンを利用することもできますので、パソコンを使用したグループワークにも便利です。

利用を希望する際は、図書館カウンターで申し込みをしてください。予約も2週間前から可能です。

利用時間 開館～閉館まで

※開室時間を変更する場合がありますので、学術情報センター Web サイトで確認してください。

学術情報センター Web サイト <http://lsic.nagoya-wu.ac.jp>

■レファレンスコーナー

レポート作成や資料収集・調査のうでわからないことがあれば、閲覧カウンターのレファレンスコーナーで相談してください。図書館員が随時対応しています。

■ゼミ指導・レポート指導

図書館ではゼミ指導やレポート指導など、授業と連携した利用セミナーも行っています。

セミナー内容は、基本的な図書館利用方法から、各分野の専門データベースを利用した論文検索・情報収集まで、幅広く行っています。また、必要に応じて内容の変更や組み合わせなど対応していますので、相談してください。

■コンピュータ自習室・館内貸出ノートパソコン

図書館では館内利用のノートパソコンの貸出を行っています。Word、Excel、PowerPointなどの基本ソフト、インターネット、メールが利用できます。ノートパソコンはグループ閲覧室でも利用可能です。利用する場合は学生証を持参のうえ、カウンターで申し込み手続きをしてください。また、館内にはデスクトップパソコンが設置されたコーナーもあり、こちらも自由に利用できます。

この他、汐路学舎は南2号館1～3階に、天白学舎には2号館4階と5号館4階にコンピュータ演習室・自習室もあります。こちらも活用してください。

コンピュータ自習室利用時間

月～金曜日：午前9時～午後9時 土曜日：午前9時～午後5時
※開室時間を変更する場合がありますので、学術情報センター Web サイトで確認してください

学術情報センター Web サイト <http://lsic.nagoya-wu.ac.jp/>



- ・ 飲食はパソコンの故障の原因となります。教室内での飲食は厳禁です。
- ・ 通話は自習室の外へ移動して行ってください。
- ・ 話し声は他の人の迷惑になるので控えましょう。



**マナーを守り
気持ちよくしましょう！**

◆ 動画を活用した課題作成 ～動画編集の手順～ ◆

写真や映像を使った課題や演習の授業やゼミで、撮影した動画の編集・保存方法についての問合せを受ける事が多くあります。そこで今回は動画撮影後の編集ツールについて紹介します。

●ビデオカメラの貸出しについて

授業や演習で利用する場合、ビデオカメラ (Everio GZ-MG840) の貸出しを行っています。汐路学舎は中央館 3 階、天白学舎は 2 号館 4 階にあるパソコン相談室で借りる事ができます。

利用は学内限定で当日内の利用に限ります。また、貸出しの際は学生証が必要です。

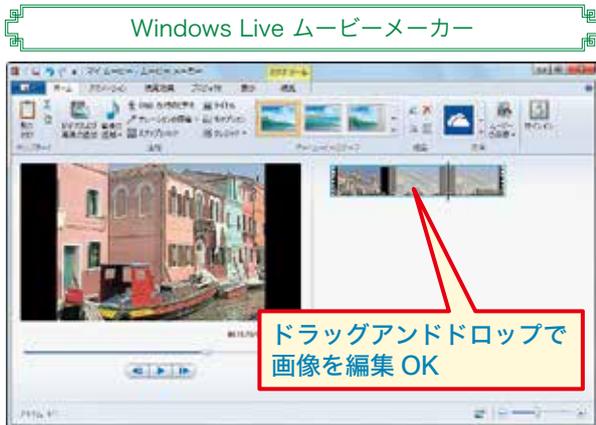


長時間撮影 OK !
三脚撮影 OK !
ズーム機能 OK !

●撮影後の編集

撮影した画像はそのままでは、無駄なシーンなどが混ざっています。画像ファイルをパソコンに取り込んで、編集しましょう。

編集には、Microsoft 社が提供している初心者向けのソフト「ムービーメーカー」がおすすめです。



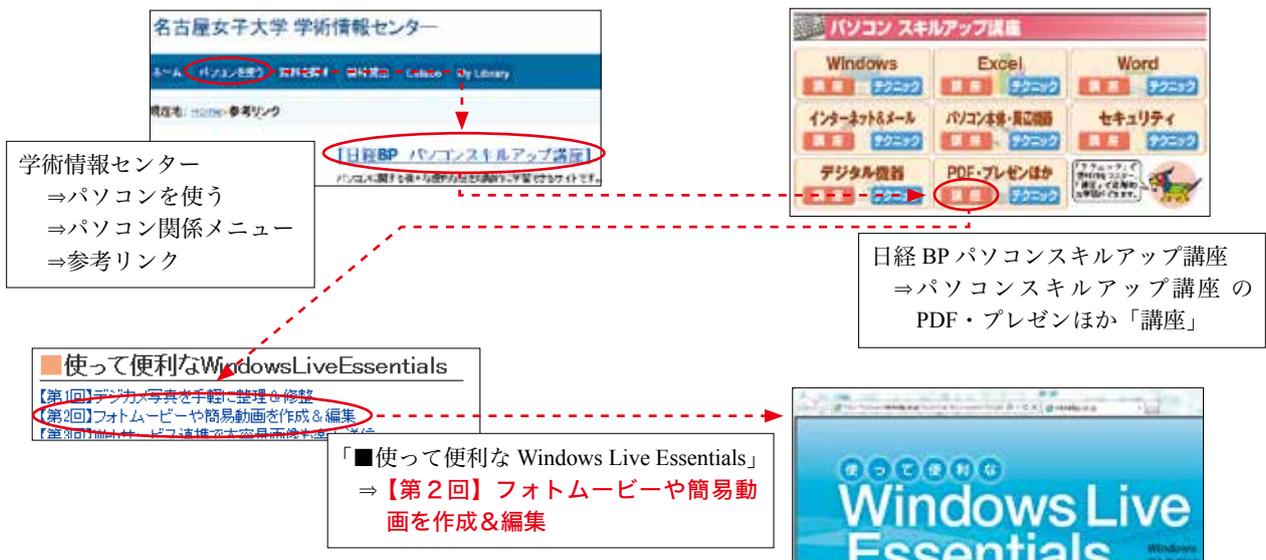
～ムービーメーカーで出来る事～

- タイトルや字幕など文字をつける
- 映画のようなエンドクレジットを付けられる
- 複数の動画をくっつけてひとつにする
- 動画の中の要らない部分をカットする
- 動画に BGM を追加する

～ムービーメーカーで出来ない事～

- マニア並みの細かいタイミングの動画編集
- Windows 以外のコンピューター (Mac 等) では使えない

ムービーメーカーの使い方は学術情報センターの Web ページからも見る事ができます。



●画像の保存

画像を編集した後は、使用目的に応じたファイル形式や画面の縦横比率を設定して保存します。「ムービーメーカー」では、おすすめの保存形式を選択するだけで最適な形式・サイズが自動的に設定され、簡単に保存をすることができます。

◆ 大学での学びと著作権 ◆

大学生活の中で「著作権」について意識をされているでしょうか。「著作権」とは、すべての著作物に発生する知的財産権で、著作者は著作権によって権利を守られています。著作物は、文章・画像・音楽・映像・コンピュータプログラムなど種類は多岐にわたり、取り扱い定義も様々です。知らないうちに著作権侵害を起こすことのないよう、普段から他人の著作物を取り扱う際に「著作権」の意識を持つことが大切です。

私的利用以外で他人の著作物を利用したり、複製したりするには、著作権者の許諾を得る必要があります。しかし、大学などの教育機関においては授業の中で必要な範囲内であれば、著作者に許諾を得ることなく利用をすることができます。また、出典を明記したうえで正しく“引用”するのであれば、著作者の許諾を得ることなく利用することが可能です。

■ 身近な事例

◇ゼミで使う論文をゼミ生に配りたい。

ゼミの人数分だけコピーすることは可能ですが、ゼミ生以外に配るためにコピーすることは授業の必要範囲外になり、著作権侵害となります。

◇レポートや論文に、資料に載っていたデータや表を挿入したい。

データが掲載されていた資料を出典として明記し、引用・参考文献リストも作成します。

文章を引用する場合は、引用部分を「」でくくる等して引用であることがわかるようにしましょう。

◇授業で配布するプリントに、インターネットからとってきた画像を載せたい。

どこの Web サイトから利用しているかを明記して引用利用をすれば利用可能です。出典を明記しないで利用すると著作権侵害になります。

今回紹介したものは、ほんの一例にすぎません。学習の中で著作権に関してわからないことがありましたら、学術情報センターまでお尋ねください。また、文化庁のウェブサイトにも、大学生や教育関係者向けに作成された紹介資料がありますので参考にしてください。

文化庁 <http://www.bunka.go.jp/chosakuken/>

◆ 名女大読書プロジェクト ◆



昨年度から短期大学部と大学図書館が連携して取り組んできた読書推進活動について、今年度より『名女大読書プロジェクト』として全学的に展開しています。プロジェクトでは、ミニレビュー・読書感想文コンクール・読書マラソン等を行っています。読書マラソンとは「本を読む」→「感想を書いて提出する」→「感想が公開される」という読書サイクルを続ける活動です。友達と感想を共有して、読書の楽しみを広げていきましょう。感想を書く読書 Diary 用紙は、学術情報センター Web サイトで色々なデザインをダウンロードして利用することができます。

12 月には今年度第 2 回の学生選書ツアーも企画されています。学生選書コーナーを見て興味を持った人は、友達を誘ってぜひ参加してください。

◆ 新着雑誌紹介 ◆

図書館に新しい定期購読雑誌が加わりました。
学科の内容とかがわりの深い専門誌です。学習や研究にご活用ください。

太白分館

◇エデュカール 幼児保育

臨床育児保育研究会が発行している、保育者と保護者の学びと交流を目的とした雑誌です。保育者の現場の声や、抱えている問題がわかります。また、全国の幼稚園で行われているユニークな取り組みなども紹介されています。



●ご存知ですか?●

学術雑誌書架の裏にバックナンバーが過去 1 年分ほどあります。それより前の雑誌は製本され地下書庫にあります。利用希望の場合はカウンターで申し出てください。雑誌も OPAC で検索できますので活用してください。

名古屋女子大学 学術情報センターだより 第 62 号 発行日：平成 25 年 10 月 1 日

発行：名古屋女子大学学術情報センター
〒467-8610 名古屋市長穂区汐路町 3-40

● 図 書 館 TEL (052) 852-9768
● システムサービス TEL (052) 852-1120